

2024年度 事業計画

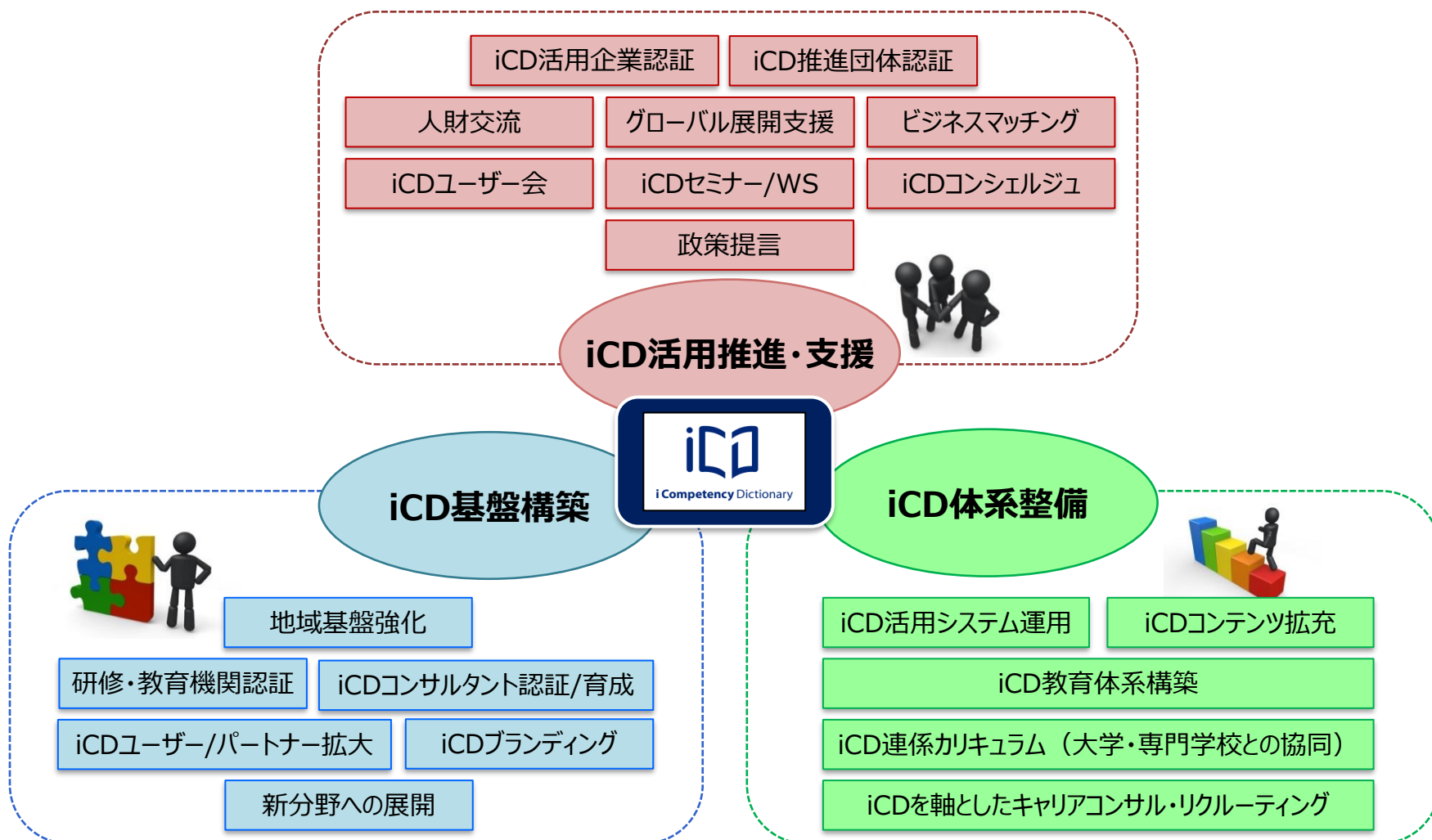


Ver1.0

2024年6月27日

一般社団法人iCD協会

iCDの力で会社を、人を元気にする



デジタルトランスフォーメーション（DX）の実現にむけ、
iCD とそのコンセプトを武器として地域を含めた
日本の企業（ IT企業、ユーザー企業 ）における
経営改革を支援する。

1.iCDの認知度向上を図り、各企業における活動機会の創出に取り組む

ユーザー会や説明会等を通して iCD認知度の向上を図るとともに、iCD活用ワークショップ等による実活用の機会を提供して、幅広い iCDのファン作りを行う。

2.「iCD活用企業認証制度」の着実な運営を通して、iCD活用企業の拡大を図る

iCDを活用している企業の事例収集と他企業への紹介を目的として「iCD活用企業認証制度」を運営し、iCDを活用する企業の一層の拡大を図る。

3.iCD活用企業の発展に貢献する

iCDを活用している企業間における情報交換の場の提供を通して、有効活用に関するコンサルテーション等のサポートを行う。
また、企業間の人材交流やビジネスマッチング等を通して、活用企業の事業の発展に貢献する。

4.iCDコンテンツの内容を適宜更新する

企業活動の業務（仕事）を整理したタスクディクショナリと、タスクを遂行するために必要な能力を整理したスキルディクショナリにつき、内外の環境の変化やユーザーニーズに応じて逐次ブラッシュアップし、グローバル標準として高度な内容を維持する。

5. iCDシステムの活用を推進する

協会が認定した「iCD活用システム」につき、広くiCD活用企業への紹介に努め、各企業がスムーズに運営できるような推進を行う。

6.iCDを活用して学校関係等における教育体系の確立に取り組む

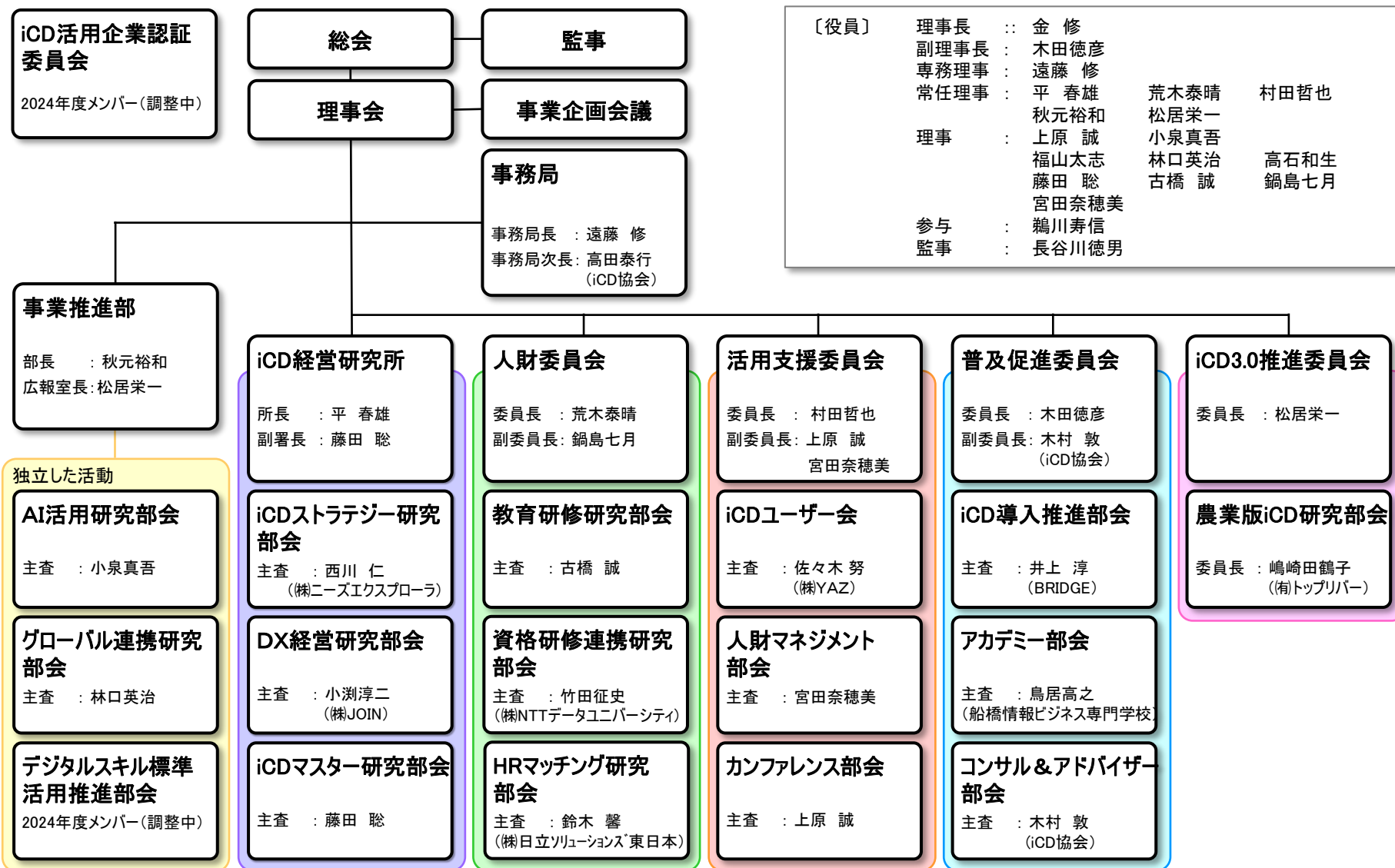
学校関係および教育事業者等と協力して、iCDを活用した教育体系、人材育成施策、実行体制の整備等に取り組む。
また、それらの機関を iCDエドューケーター として認証して、継続的なカリキュラムや研修手法の向上を図る。

7.iCD活用企業の海外展開をサポートする

海外のスキル標準と密に連携して、iCDのプレゼンスを高める活動を行うほか、連携結果を iCD活用企業に展開して、企業のグローバル化のサポートを行う。

2024年度 事業計画

1. 組織体制



〔注釈〕 氏名に付記されている(カッコ内)は所属を示す。(カッコ内)が付記されていない場合は、〔役員〕欄を参照のこと。

2. 重点施策

(1) iCD3.0 活用の推進にむけて参照モデルを整備し展開する

- ◆事業内容 先行する農業版iCDにおいて、農業全般を考慮したタスク体系化、スキル定義とその運用実証を行う。さらに農業版を参照モデルとして、iCD3.0普及と利用企業の定着にむけた活動を展開する。
- ◆利用者想定 企業の「ありたい姿」の可視化や成長にむけて、タスクとスキルを活用した取組みに関心ある皆様。IT領域の最新スキルを活用し、製品やサービス等のビジネスモデル変革(=真のDX)を目指す皆様。

(2) 人材の見える化による 人的資本経営 の実践をサポートする

- ◆事業内容 iCDによる人的資本の可視化を実践し、働きがい醸成等の成果を創出するとともに、その情報開示をとおして、iCD活用企業の付加価値向上と継続的發展を目指す。
- ◆利用者想定 人材を企業価値創造のための資本と捉え、その可視化に関心ある皆様。人的資本の情報開示をとおして、企業の付加価値向上を目指すことに関心ある皆様。

(3) 生成AI による iCDの拡充と戦略的活用方法を研究する

- ◆事業内容 iCD資産の拡張と効果的な保守を生成AIにて実現し、そのデータを生成AIに処理させる仕組みを研究する。
さらに会員やコンサルタントが、生成AIを用いて iCDを戦略的に活用できる仕組みを研究する。
- ◆利用者想定 既存の iCD活用モデルに対する改善や効率化にむけ、生成AI活用を検討される皆様。
人材の育成目標の設定やその評価に、生成AIを活用した対応を検討される皆様。

3. iCD経営研究所

(1) デクショナリの戦略的活用ノウハウの整備と支援システムの研究 **〔iCDストラテジー研究部会〕**

- ◆研究内容 iCD資産の基本部分の拡張と保守を生成AIで行う仕組みの確立や、デクショナリデータを生成AI専用の処理形式にする仕組みなどの実践ノウハウを蓄積する。さらに、会員やコンサルタントがiCDを戦略的に活用できる仕組みを研究し、生成AIと自然言語処理技術を応用した検証を継続する。
- ◆利用者想定 iCDの戦略的活用を目指す皆様、iCDとともに生成AIの活用に関心ある皆様

(2) DX実現にむけた知識体系・技術基盤とサービスのあり方の研究 **〔DX経営研究部会〕**

- ◆研究内容 ジョブ型マネジメント知識体系(JMBOK)V2.0において、継続的改版を推進する。また協会内の他の委員会と連携し、会員ニーズに対応した知識体系・サービスのあり方を調査・分析し、知識体系のあり方を確認する。さらに、生成AIを活用した新しいサービス方法を研究し、そこで得られた知見は協会内のナレッジベースに蓄積して会員とアドバイザー・コンサルタントに共有する。
- ◆利用者想定 DXによる経営変革を目指す組織の経営層(企画/人事等を含む)やコンサルタントの皆様

(3) DX時代に相応しいiCDの体系・構造と活用しやすい内容への展開の研究 **〔iCDマスター研究部会〕**

- ◆研究内容 iCD協会活動において作成されたタスクやスキルを確認し、マスタ管理手順を整理する。また、今後の著しい技術進展とビジネス変革への対応のため、個社へのiCD適用への生成AI利用を研究する。
- ◆利用者想定 iCDを活用されるすべての皆様（特に、iCDの最新動向に関心ある皆様）

【補記】 iCD経営研究所の活動について

研究所においては、以上のテーマについてのシンプル性と連携性を保つために、一つの活動体として効率的な運営を図る。

4. 人財委員会

(1) 研修事業者の情報共有の場の円滑運営と事業水準の向上 **〔教育研修研究部会〕**

- ◆事業内容 IT関連の特定研修事業者が参集し、ビジネス課題やその対処法等を共有、ならびに事業水準の向上を図る。
教育研修研究部会に所属する研修事業者の責任幹部および担当者により、各社のオープンコースやサービス検索・申込の共通化や、iCD・他フレームワークを基軸とした、研修情報発信の整備等による研修利用者の利便性向上を図る。 **〔研修事業営業分科会〕**
- ◆参加メンバー 研修事業者の動向把握や、各社の研修の比較/選択を検討されている皆様

(2) マップと資格制度の紐づけによる可視化 **〔資格研修連携研究部会〕**

- ◆事業内容 フレームワーク上へのマッピング情報のリリース。デジタル社会化促進の為の「人への投資」へ寄与する。タスクと資格を関連付けるマップの作製、及びメンテナンスを実施する仕組みを構築し、iCD協会として提供する。
- ◆参加メンバー 資格や研修の事業を生業(なりわい)としている皆様

(3) マッチング需要のコミュニティ再形成とiCDを活用したマッチングToolの浸透 **〔HRマッチング研究部会〕**

- ◆事業内容 マッチングにおける課題感をもつ調達担当者コミュニティを通じて、マッチングにおける課題について意見交換をする。iCDのガイドラインも活用し、マッチングToolの開発と改良の実証事業を行う。
* 定例会議(隔週)、調達関係者の会(毎月)、イベント(年4回)開催。
- ◆参加メンバー 人的資源のアピールと、その調達・雇用を事業としている皆様

5. 活用支援委員会

(1) 既存会員の満足度向上 および 新規会員の獲得 **【iCDユーザー会】**

- ◆事業内容 iCD活用企業において、その活用レベルを一層深めるための支援を行う。
* iCDユーザ会(会員向け、3回)、iCDユーザ会(会員以外も含む、2回)の開催
- ◆利用者想定 iCD協会の会員、ならびに 協会活動に興味がある非会員の皆様

(2) 人財マネジメントに関する研究・意見交換 **【人財マネジメント部会】**

- ◆事業内容 人財マネジメントに関する研究、意見交換を行う。その実現にむけ、会員向けの iCDオフ会について、ハイブリット型での開催を前提とした企画・実施・報告を行う。
* オフ会(会員向け、3回)の開催
- ◆利用者想定 iCD協会の会員、ならびに 人財マネジメントに知見がある有識者(講演者)の皆様

(3) 最新情報、協会活動成果、最新事例の発信 **【カンファレンス部会】**

- ◆事業内容 社会における iCDの認知度を向上し、一層の普及促進をする。
* iCDカンファレンス(会員以外を含む、2回)の開催
- ◆利用者想定 iCD協会の会員、協会活動に興味がある非会員、iCDに興味がある企業・団体、有識者 の皆様

【補記】 会員サービスのさらなる向上 **【過去動画の配信サイト】**

iCD協会の会員各位を対象として、その専用動画配信サイトの構築・運営を実現する。

6. 普及促進委員会

(1) iCDに興味を持つ企業・団体の支援 **〔iCD導入支援部会〕**

- ◆事業内容 iCDの周知・紹介・普及活動を目的として、以下のようなイベント等について企画し実施する。
① iCD未導入企業向けセミナーの開催 ② iCD導入予定企業向け研修の実施
iCD紹介セミナー（年 10～12回）、iCDカレッジ【人材育成&業務改善・実践コース】等
- ◆利用者想定 iCDの概要を把握し、導入にむけたノウハウを習得したい皆様

(2) iCDに興味をもつ学校法人の支援 **〔アカデミー部会〕**

- ◆事業内容 iCDに興味をもっている専門学校を中心とした学校法人に対し、以下のような活動を行う。
① iCDを活用した産学連携の企画と実施 ② iCDアカデミー認証の創設 等
- ◆利用者想定 iCDを活用している企業との連携を目指している学校法人の皆様

(3) iCDの推進に協力いただけるコンサルタントとアドバイザーの支援 **〔コンサル&アドバイザー部会〕**

- ◆事業内容 iCDの普及促進に協力いただける方々に対し、以下のような活動を行う。
① iCDコンサルタント認証 ② iCDアドバイザー制度の運用
③ iCD推進者のコミュニティの発足と運営 等
- ◆利用者想定 iCDの普及促進に協力いただける iCDコンサルタントとiCDアドバイザー の皆様

7. iCD3.0 推進委員会

(1) 農業版iCDのタスク・スキルの策定〔農業版iCD研究部会〕

◆事業内容

- ① 農業分野全般を考慮した体系化
営農類系を活用したコード体系を適用
- ② スキル項目の定義と運用実証
タスクでは表現できない農業スキルの定義と、その運用実現性の検証
- ③ 普及活動 タイアップ説明会
 - ・ 案件ベースで利用企業を広げる活動
 - ・ 営農分野におけるiCD会員モデルの定義と運用
 - ・ 普及へ向けた情報発信(セミナー・勉強会等の実施)

◆利用者想定

農業事業従事企業の皆様

【補記】 順次、他業種の研究部会を構成予定です。

8. 独立した部会活動

(1) 「ビジネス×AI」を推進できる人財育成の仕組みづくりに関する研究活動 **〔AI活用研究部会〕**

- ◆事業内容 「iCD協会(AIタスクディクショナリ)」と「人工知能学会(AIマップ)」の両会員の共同作業により、AI開発のグランドデザインに関するトレーニング(ワークショップ)を設計、検証し、AI中核人財の育成を促進する。
- ◆参加メンバー **【募集中】** AI開発を主導できる人財育成に関心があり、上記の**取組み**に参加可能な皆様

(2) iCDのグローバルな展開を目指したコンテンツと環境の整備 **〔グローバル連携研究部会〕**

- ◆事業内容 デファクトグローバル標準「SFIA」および海外組織との継続した連携を促進し発信する。
具体的には、SFIAの動きに応じて iCD および Wings の向上を図る。
- ◆利用者想定 グローバルな視点でのスキル標準の動向、および iCDの立ち位置に関心ある皆様

(3) iCDによる「デジタルスキル標準」の活用推進と普及 **〔デジタルスキル標準活用推進部会〕**

- ◆事業内容 「デジタルスキル標準」の推進にむけて、iCD活用企業における業務遂行力や資格・研修等の位置づけを業界を代表するフレームワークにて可視化する仕組みを普及し、その展開を図る。
- ◆利用者想定 「デジタルスキル標準」にて、自組織の業務遂行力の可視化を望まれている皆様
「デジタルスキル標準」にて、資格・研修等の習得目標の可視化を望まれている事業者様

9. iCD活用企業認証委員会

(1) iCD活用企業認証制度の運用 **〔iCD活用企業認証委員会〕**

- ◆事業内容 各企業の iCD の活用状況や成果の創出状況を確認して、そのレベル(6段階)に応じた認証を実施する。その結果と、認定企業各社の取り組みの詳細を公表することで、iCD の有効性を確認し、さらに普及促進を図るための活動を強化する。
- ◆利用者想定 iCD 活用について、他社の状況を確認するとともに、自社の状況を公開し関係者と共有することで、さらなる iCD 活用成果向上を目指す皆様

End of File